

---

# 僕の敵は〇〇だ

ZEULEU

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕の敵は〇〇だ

### 【Nコード】

N6964K

### 【作者名】

Z E U L E U

### 【あらすじ】

主人公の龍旗 襲哉は、親友の緩崎 隊徒と逢真津 憂揮と弾那賀 冥人。クラスメイトの劉願磁 砂爺と懷山 御久たちと繰り広げるバトルコメディー。

## プロローグ

「へっへっへへへっ　クシヨーン」

春は嫌いだ。正確に言うと、花粉が嫌いだ、スギが嫌いだ。いままで、いろいろと花粉に苦しめられてきた。

学年末の試験勉強なんて、集中出来やしない。

歌は好きだ。正確に言うと、アニソンが好きだ、カラオケが好きだ。でも、花粉のせいで歌えない。声が出ない。

とくに、声の高い僕は、残○な天使のテーゼとか、創世のアクエ○オン、ハ○晴れユカイなどを

よく歌うのだが、鼻が詰まって声が出ない。花粉め。

この頃は、スギなんて滅んでしまえと思うこともある。

「大丈夫かあ？」

そう言つて、親友の隊徒がティツシユをくれる

つと思わせてナプキン（食べ終わったガム付き）をよこしやがった。

「てめえ」

隊徒はこうなることが分かっていたらしく、木刀をすでに構えていた。

毎日起こっていることなので、こちらも準備できている。

次の瞬間、僕はバツクから弾の入ったP - 90（もちろんエアガン）を取り出し、隊徒に銃口を向ける。

隊徒がバツクから弾の入ったP C 3 5 6（こちらも、もちろんエアガン）を取り出し、僕に向けて威嚇射撃、

僕は、その弾をかわして、隊徒に向けて射撃、フルオートの弾を至近距離でかわすのは難しかったらしく、顔面にヒット、隊徒が床に倒れる。（エアガンは人を撃つものではありません）

「うあー」

倒れこむ隊徒の大切な所に無情にも弾を撃ち込む。

「うあー」

今の俺には、この音が快感になっている。

「やつややつ やめろよ おっおい」

隊徒が必死になって命乞い（助けを求めろ）

「へっー クション」（くそっ 花粉め・・・）

この瞬間、隊徒が俺に向かってPC356を構える。

この状態になれば休戦だ、これで撃ち合っても双方に得がないからだ。

「ピンポン」

二人が顔を見合わせる。

僕は、通話のボタンを押して、

「誰ですかー？」

と、当たり前前の会話をした。

「憂揮と冥人だけど・・・」

どうやら、やつと来たらしい。二時に来ると言っていたが、もう三時だ。

僕は、解錠と書いてあるボタンを押して、ドアのカギを開けた。

「ガチャ」

二人は廊下を通り、俺の部屋に入ってきた。二人はカーペットの上に座った。

そして、二人はすぐにPOPを取り出しSOCOMを取り出した。

僕たちは、あまり外で遊ばない。いつも、家でゲームだ。

この頃、俺と冥人はときめきメモリアル4などにはまっている。

隊徒と憂揮はシューティングゲームが好きである。

前まではよくレジスタンス報復○刻やモンスター○ター2Gなどをやっていたが、

今は、SOCOMをやっている。俺のうちだけオンラインで対戦ができるため、よく、俺のうちで遊ぶ。

僕はいつも、C-TASとP90を使っている。

隊徒と憂揮は、RPG-7。冥人は、FA-MASをよく使っている。

だいたい、隊徒と憂揮が、歩く教会、とか言つてRPG-7を乱射している所を俺と冥人が遠距離からヘッドショットして、殺すというパターンが多いが、狭い場所だと、乱射した弾の爆風を受けて死ぬことが多くなる。

だいたい、平和な日は、このようにして終わる・・・  
そう、平和な日は・・・

## プロローグ（後書き）

初めて書きました。

誤字脱字等もあると思いますが、温かな目で読んでもらえる幸いです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6964k/>

---

僕の敵は〇〇だ

2010年10月15日23時22分発行